



ごあいさつ

院長 貝嶋 光信



3月も下旬になり、どこかで春の足音が聞こえて来そうなこの頃、春が待ち遠しいですね。ところでこの恵み野病院だより「信頼と誇りと」は2008年5月に創刊され、隔月で発行、この号が89号を数えることになりました。この間、インターネットの広がりを見張るばかりで、病院からの情報発信にもインターネット上のホームページが活用されています。それでもこの情報誌は当院が地域の皆様と交流する場であり、タイムリーなアナログ的情報発信の場であると思っています。

さて私はこの3月をもって院長を辞することとなりました。2007年4月から18年間、当院の創設者であった近藤博先生の蹟を受け、その遺志を継ぎ、微力ながらこの病院と地域の皆様との架け橋になろうと願いながら務めて参りました。後任の病院長には三浦洋輔・現院長代理が就任いたします。三浦院長を新リーダーに、恵み野病院が当地域の医療と介護の柱としてさらに発展することを期待しています。恵み野病院を今後ともどうぞよろしくお願ひします。

追伸：なお、私は院長を辞したのちも脳神経外科の診療は継続いたしますし、介護老人保健施設・恵み野ケアサポートの施設長として地域の医療・福祉に関わって参ります。どうぞよろしくお願ひします)

創刊号

Hokushinkai Megumino Hospital Monthly Letter

No 1 May 10, 2008

信頼と誇りと

恵み野病院便り



2008年6月23日 第1号

地域のみなさまへ

恵み野病院がこれから目指していく医療についてのメッセージやお知らせなどを、月に一度、恵み野病院便りとして発信していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。ご意見などありましたら、ご意見箱または、e-mailなどでお寄せ下さい。

院長 貝嶋 光信



お知らせ



お医者さんによる地域の健康講座に行ってきました。

去る1月22日柏陽憩いの家、1月28日島松憩いの家、2月5日和光 憩いの家で「糖尿病とは、どんな病気」という内容で当院糖尿病内科酒井健太郎先生が講演を行いました。多くの地域の方や関係者の方に参加していただきました。

講演の内容を少しご紹介します。

糖尿病は年々患者数が増加しており、現在では約10人に1人の割合で見られる身近な病気です。誰でもかかる可能性があり、また、とても気づきにくい病気でもあります。

もし糖尿病になった場合、すぐに適切な治療を受けなければ、合併症が進行してしまいます。治療が遅れるほど、神経症状（手足のしびれ）、視力の低下や失明、腎機能の低下（倦怠感や貧血）と症状が進行していきます。

これらの糖尿病や合併症を予防するためには、以下のことが大切です：

- 毎日の食事内容の見直し
- 日々の運動
- 病院やクリニックでの定期受診を通じて、自分の状態をしっかり把握する

講演後の質問のコーナーでは、「インスリンの量は決まっているのか？」・「眼科の受診タイミングはいつが良いのか？」「低血糖になった際の対処方法は？」等がありました。

講演に参加していただいた皆様は他の参加者の質問の内容や先生の回答をしっかりメモを取り、参加者の方同士でも意見の交換をしているところが見られ糖尿病の理解が深まったように思いました。

恵み野病院では、恵庭市地域包括支援センターと協力してこのような講演会を引き続き予定しています。皆様に参加いただければ幸いです。

地域医療連携室 K&S



病院敷地内禁煙のお知らせ

当院の病院建物内および駐車場、通路を含む敷地内での喫煙は禁止となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

※電子たばこ等も含まれます



恵み野病院ホームページアドレス：<http://megumino.or.jp>